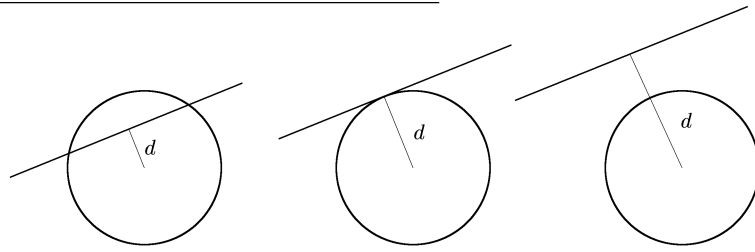


重要 円の中心から直線までの距離に注目した考え方

円の中心から直線までの距離を d とし、円の半径を r とするとき、

$$d < r \iff \text{共有点は2個}$$

$$d = r \iff \text{共有点は1個}$$

$$d > r \iff \text{共有点はなし}$$

問題2 円 $x^2 + y^2 = 2$ と直線 $y = -x + k$ が異なる2点で交わるように、 k の値の範囲を定めよ。また、接するときの k の値を求めよ。

(吉教科書 p.32 問8)

=====

[MEMO]